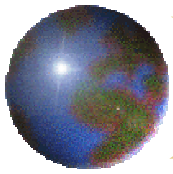


ICANNサンファン会合 政府諮問委員会報告 (平成19年6月24日～28日)

平成19年7月23日
総務省データ通信課
辰川 晶子



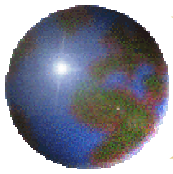
政府諮問委員会（GAC）の概要（1）

● GACの活動

- ICANNの活動に関し、次の事項について政府の立場から検討、ICANN理事会に対して助言。
 - － 公共政策課題に関する事項
 - － ICANNポリシーと各国国内法、国際協定との間で相互に関係がある事項

● GACメンバー構成

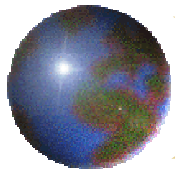
- 現在、101の国・地域の政府及び9国際機関（オブザーバー）で構成。
- 今回会合には33の国・地域の政府及び1国際機関から参加。
- 日本からは総務省職員がGAC代表として参加。



政府諮問委員会（GAC）の概要（2）

● サンファン会合での主要議題

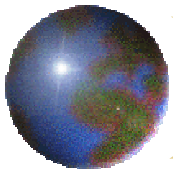
- (1) IPv6の導入及びIPv4アドレスの枯渇
- (2) IDN(国際化ドメイン名)
- (3) Fellowshipプログラム
- (4) ICANN理事会との協力



サンファン会合結果概要（1）

（1） IPv6の導入及びIPv4アドレスの枯渇

- IPv6導入に関するGACメンバー間の情報交換。
 - － 韓国、オランダより、IPv6移行に向けた政府の取組等を紹介。
- NROからIPv4アドレスの枯渇についてプレゼンテーション。
 - － 政府は電子メールやウェブサイトをIPv6対応とすることで、IPv6の導入例を示していくことが必要
- IPv6への円滑な移行は公共政策の観点からも重要性を増しており、今後もGACとして注視していくことを確認。



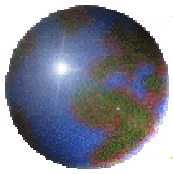
サンファン会合結果概要（2）

（2） IDN（国際化ドメイン名）

- IDN-ccTLDについて、今後ポリシー策定プロセスの中で検討されるべき課題を論点ペーパーとしてとりまとめ、採択。

（課題の例）

- ▷ 一般的課題：IDN-ccTLD文字列は意味を持つべきか
 - ▷ 導入時：ISO 3166に対応するようなIDN-ccTLD文字列リストは必要か
 - ▷ 委任時：既存ccTLDの委任ポリシーはIDN-ccTLDにも適用されるか
 - ▷ 運用時：既存ccTLDの管理・運用とは何が異なるか
- ポリシー策定プロセスと平行して、暫定的なIDNの導入を可能とするプロセスの検討も必要との認識。



サンファン会合結果概要（3）

（3） Fellowshipプログラム

- ICANN理事会から参加状況等について報告。
 - － 125人の応募の中から33人を選出。10人が次回会合に参加予定。
- GACとして強く支持表明。GAC内の知見を生かして、本プログラムの発展を手助けしていくことを表明。

（4） ICANN理事会との協力

- ICANN理事会とGACの協力関係が、ジョイントワーキンググループによって強化されたことを評価。
- 当初の目的を達成したことから、委任事項の見直し。